

国 語

注 意

1. 問題は全部で18ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その2)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. **HB**の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

— 1 —
次の文章は、フランスで使用されている高校生用の哲学テキストを日本語訳したものである。読んで後の問に答えよ。

学校でもそうだけれども、普段の生活でもまったく同じように、君たちは自然の動きによって、¹権利だけはほしいけれど、義務は被りたくはないと思いがちだ。そういう欲望は世界と同じだけ古くからあるのだけれど、²実はそれは自由の誤った定義を前提にしている。自由というのは、好きなことを好きな時に、好きな人とできるような、特権や権限ではない。① そのような定義はむしろ、弱肉強食の法則にこそ当てはまる。

誰もがなんでもできることを望み、禁止などされたくはないと思う。けれども同時に、なんでもできる権利が隣人にもあつては困る。② そして、そうした厄介な事態をどうすれば防げるかも、誰もがよく心得ているのだけれど。③ 私たちは、最大

多数の良好な関係、よき理解を維持できるように自由を作り上げることよりも、自分に完全な自由を認めることの方に、よりいつそう飛びついてしまいがちだ。④

純粹な自由、特権は、実は万人の万人に対する戦いの状態を表している。⑤ 最も強い者、最も巧妙に立ち回る者に、最大限の権力があたえられてしまうことだ。たいていの場合、そういう自由をもつことで、支配者は、最も弱い者、最も無防備な者に対して、自分が考える掟を強要できる。利益が拡大しているのに社員を解雇する工場長は、そういう自由を標榜している。共和国知事待ち伏せ、その頭を拳銃で撃ち抜く地方分立主義者、勤務中にセクハラをする上司、講義中に学生をいじめる教授など、いずれもそういう自由を標榜し、他人に対しては自己の尊厳、安全、平穩を手にする自由を認めないことに満足しているのだ。これらの例で 1 。

弱者、子ども、社会的に保護されていない人々、精神的未成熟者などへの専制的支配を防ぐには、障害が最大限取り除かれて共同生活が可能になるような、個別のルールが必要だ。そのホシヨウとして法の 2 を課する必要も出てくる。学校の場合、何をやってもいいという状況にしないためには、校内規則が必要になる。ただし、その規則はあくまで法の 3 に ^bノットつていなければならない。つまり、当事者同士の協議にもとづいて制定され、一方の側の生徒と、もう一方の側の教職

員、管理者、指導者との間で、権利と義務とが公平に分配されるようにしなければならないのだ。各人が考えを述べ、意見を交換し、文面の作成に関わり、基本的な部分に同意するようにしなければならないが、大きな代償を伴う必要があつてはならない。

法は一つの自由を実現させる。もし校内規則が、規則を定める権限を管理者側のみ認め、君たちが協議、発言、策定に関与していない内容を強要できるようになっていたら、その文面は、君たちの身体と精神の全権を握っているのが実は施設の側だということをはた隠す、いわばブドウの葉になっていて危険がある。反面、もしもその規則が、相手に害を及ぼしかねない権限を互いに放棄することで成り立っているのなら、その文書は、正当な内部規則の文面としての価値をもつことになる。ただしその場合には、両当事者の権限放棄のバランスがはつきりと取れていなくてはならないし、害を及ぼすような権限のどの部分を放棄するのか、相手に何を期待し、何を望むのか、何についてきちんと協議したいのか、何については譲れないのか、両当事者が明確に記すことも必要だ。

どんな場所であつても、したがつて君たちの学校でも、個人と集団の間では社会契約が交わされなくてはならない。つまり、無制限の自由が危険だということを認識し、共同で生活できるよう配慮し、そうした共生を可能にするような計画を策定するのだ。相手に害を及ぼすような権限を放棄することに同意し、次に、必要があれば各人がいつでも参照できるように、現実味のある個別のルールを作りあげる、それが計画の本来の姿だ。なのに、ほとんどの場合、校内規則は君たちが守るべき禁止事項と義務の羅列になってしまう。

校内規則は、両当事者の権利と義務を公平に分割するのが筋というものだ。この場合の当事者とは生徒側と施設側だ。分割が適切であれば、また、君たちがそれに同意してサインしたならば、その時から君たちは拘束される。君たちはサインを強要されはしないが、いったんサインしたなら、規則を遵守しなくてはならなくなる。協議によって制定される規則は、4。最初の無節操な自由から毅然とした自由へ、5の状態から文明の状態へ、暴力的な自然から安全や平穏を生み出す文化へと、道が作られるのだ。両当事者を結びつけるのは何か？ 契約、言葉のやりとり、平和な共同生活への願い、そして両当

事者にとって役立つ公正なアプローチだ。

では、もしアプローチが公正ではなかったとしたらどうだろう？ もとより校内規則が、両当事者の協議によって制定されたのではなかったとしたら？ 義務の羅列にすぎず、

6

するに値する代償がないとしたら？ 新学期にサインすべき文書

として君たちに配られ、拒めば入学が許されないとしたら？ 学校の中であつても、君たちは民主主義にもとづいて、権限の公

正な

7

と、同じく公正な成果の達成を原則として、契約の

8

やその書き直し、練り直しを図ることができる。

規則というものが両当事者の意思を表明するものである以上、それは変更や改訂ができるし、

9

することもできる。普

通は両当事者がともに希望する場合だが、当事者の一方が、提示された契約ではもはや満足できない場合でも、その者は協議をもちかけてよい。そうして、自由がない状態やそれに近い状態に戻されず、真の自由として拡大されるような、別の自由を

10

する条件を策定していくのだ。自由が規則によって作り上げられておらず、逆に規則によって狭められているような

状況なら、君たちは当然、規則の文書が生徒側と施設側の相互の希望、意向、可能性によりよく適合したものになるよう、個別のルールの原則をかざして改善を要求できる。

規則や法律は、それで共同生活でのリスクが低減できるのであれば正当なものと考えてよい。もしそれらが、通例の権威の側から個人に及ぼされる権力を強化するのに貢献し、そのため個人が服従するだけになってしまうようだと、規則は権力側の支配の道具でしかなくなり、法律は既存の権威に奉仕するだけとなり、言論を弾圧しようとする体制によって、個人は不当な行為を被ってしまう。自由が規則によって、また法律において作りあげられるのは、要求する側と提供する側とのやりとりがずっと続いていく場合のみだ。今の話でなら、施設の権限を握る側と、学校への入学を求める生徒側とのやりとりだ。もしそうでないなら、その時にだけ、自分が選んだのではない規則、しかも私たちにとって不正だと思える規則への不服従は、義務になる——ただし、その義務は、倫理的な要請にもとづくのであって、個人の都合にもとづくのではない。サインするかしないかは君たち次第だ。協議するのも、論争するのもそう。サインしたり修正したりできる君たちの権限を民主主義的に行使することもまた、君たち次第だ。

(ミシエル・オンフレ『反哲学教科書』(嶋崎正樹訳)による)

問一 傍線部「権利だけはほしいけれど、義務は被りたくはない」について、筆者はこうした思いの前提には何があると考えているか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **1**。

① 自然な本能が命ずる動き

② 世界が作られたとき以来の長い歴史

③ 自由とは好きなようにできる特権のことだという定義

④ 自由を許されるのは一部の人間に限られるという現実

⑤ 自分だけが自由でありたいと考える利己的な心情

問二 傍線部「自由の誤った定義」とあるが、どのような定義のことか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **2**。

① なんでも自分の望むことが望むときにできるような特権や権限

② 規則を定める権限を一方の側にのみ認めること

③ 法なき状態において、各人は各人の敵であるという考え

④ 禁止や義務に違反しても処罰されない状態

⑤ 禁止や義務がなくても人間は社会に配慮するはずだという想定

問三 この文章には「その相手が、いつでも自分を好きなように扱えることになってしまっからだ。」という一文が抜けている。戻すとしたらどこが適切か。最適な位置を文中の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **3**。

問四 前後の文脈から考えて、空欄1に入る文として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

4。

① 問題になっているのは実は自由ではない、問題になっているのは特権、強者の掟だ。

② 問われているのは実は法ではない、いかに平等を確保するかということだ。

③ 問題になっているのは実は特権ではない、問題になっているのは競争原理だ。

④ 問われているのは世界と同じだけ古い問題、人間のエゴイズムの根深さである。

⑤ 問題になっているのは自由や平等ではない、個々人の反省力であり理性である。

問五 空欄2に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 5。

① 権力 ② 調整 ③ 適用 ④ 原理 ⑤ 理解

問六 空欄3に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 6。

① 権力 ② 調整 ③ 適用 ④ 原理 ⑤ 理解

問七 空欄4に入る語句として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 7。

① 自由とは関係がない。

② 自由を作りあげるものだ。

③ 自由を制限するものだ。

④ 自由と反比例の関係になる。

⑤ 自由への信仰を抑えることができる。

問八 空欄5に入る四文字の言葉を本文中から抜き出せ。解答用紙(その1)を使用。

問九 空欄6に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 8。

① 破棄 ② 行使 ③ 改訂 ④ 擁護 ⑤ 放棄

問十 空欄7に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 9。

- ① 破棄 ② 行使 ③ 改訂 ④ 擁護 ⑤ 放棄

問十一 空欄8に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 10。

- ① 破棄 ② 行使 ③ 改訂 ④ 擁護 ⑤ 放棄

問十二 空欄9に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 11。

- ① 破棄 ② 行使 ③ 改訂 ④ 擁護 ⑤ 放棄

問十三 空欄10に入る語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 12。

- ① 破棄 ② 行使 ③ 改訂 ④ 擁護 ⑤ 放棄

問十四 次のア～オのそれぞれについて、本文の内容と一致するものは①、一致しないものは②をマークせよ。解答欄番号は 13。

- ア 13 オ 17。

ア 自由はなんでも好きなことを行う権限ではなく、規則や法律によって作り上げられるものである。

イ 規則が不公正なものだった場合、服従しなくてよいのではなく、むしろ服従しないことが義務である。

ウ 規則は一つの自由を作りあげるものであることも、逆に、自由を狭めることもある。

エ 自分が策定に関わった規則は守らなければならないが、そうでない場合、規則を守る必要はない。

オ 社会全体の安全と平穩は個人の権利に優先するため、個人は自分の自由を譲渡しなければならない。

問十五 波線部 a「ホショウ」を漢字に直す場合、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 18。

- ① 保証 ② 補償 ③ 保障 ④ 補障 ⑤ 補奨

問十六 波線部 b「ノットつて」を漢字に直せ。解答用紙(その1)を使用。

二 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

或る若僧、京にて人の娘にいひかよはし、深き契りをこめにけり。師の坊の仰せにて、関東へ学問に下る。馴れし女に名残りありて、暫く虚病に日を送りけれども、かく有るべきにもあらねば、今は嘆くに力なく、女に暇乞ひして、既に東におもむけば、女やるかたなく恋ひ悶へ、袖にすがりて送り行く。

2 都をばまだ夜とともに出でしかど、粟田口まで行きかかれば、空、しののめに成りにけり。僧、女に言ふ。「いつまでも、つきぬ名残りに侍れど、明けはなれなば、いかばかり余所の見る目も見ぐるし。たとへば、旅程を雲に隔つとも、やがての内に立ち帰り、空行く月のめぐり逢ひなん。是より帰り給へ」といへば、女、是非を弁へず、「只今別れ参らせ、片時生くべき命ならず。さればとて、つき添ひ下らんもかなはず。ただ自ら首を切りて、記念に持て下り給へ」といひて、懐より小脇指を取り出だす。

僧、あきれて思ふ、「是非ともに、この女、生きて帰らぬ心にて、かく剣迄用意せしなるべし。帰れといふに行きやらず、つれんとするにかなはず。夜ははや明るく成りたれば、とかく時刻うつしては、あやしき恥に及ばんと、情けなくは思ひながら、雪とあやしむ肌⁶に氷の剣を押しあてて、首討ちおとし、骸をおさめ首を油単に取り包み、袖を涙にひぢながら、東の旅途におもむき行く。

* 飯沼の弘経寺といふ談林に一所の寮をしめて居たり。この僧、外に出でて帰る時、必ず女の声して、たからかに笑ふ事まま多し。隣壁の僧、不審をなし、隠間より覗くことあまたたび。されどもこの僧独りのみで、人さらになし。わづかに狭き内なれば、いづくに人老人、隠すべきくまもなし。とかくして、三年過ぐる。

その頃、この僧の母、煩ふ事ありとて、飛脚下りければ、僧取りあへずのぼりぬ。その後、三十日ばかりして、この寮の内に

女の声にて哭き叫ぶ事あり。各々 B を消し、寺内騒動し、この戸に錠のおりたるを、打ちぬきて内を見るに、あへて人なし。

少さき洗紙包みの内に、この声あり。恐ろしながらひらき見れば、飯櫃やうの、曲げたる物に若く盛んなる女のくび、紅粉翠黛、生きたる顔にいやまさりてけつらひ、愁へる眼、涙に浮き腫れたり。人々を見るより恥づかしげにしをれしが、あしたの雪の日にあへる如く、じみじみと色変じて、忽ちむなしく枯れにけり。

いかなる事とは知らねど、衆僧葬りて、跡懇ろに弔ふ。その後、京より飛脚下りて、「かの若僧、急病をうけて、このいつの日、相果てぬ。寮を明け渡し申す」といふ使ひなり。各々思ひ合はすれば、この首の哭きたる日、おなじ時なりけり。後々京にてのあらまし、聞こえけるにぞ、皆人 C を巻きぬ。

〔新御伽婢子〕

* 旅程を雲に隔つとも、やがての内に立ち帰り、空行く月のめぐり逢ひなん……『拾遺集』(卷八)や『伊勢物語』(第十一段)に載る「忘るなよほとは雲居になりぬとも空行く月のめぐり逢ふまで」という歌を踏まえた表現。

* 油単……ひとえの布や紙に油で防水加工したもの。油単包として旅行に用いられた。

* 飯沼の弘経寺といふ談林……弘経寺は今、茨城県常総市にある浄土宗の寺。談林は僧の学問所。

* けつらひ……よそおい。

問一 二重傍線 a「暫く」の読みをひらがなで記せ。解答用紙(その1)を使用。

問二 傍線部1「かく有るべきにもあらねば」とあるが、なぜそうなのか。その理由の説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **19**。

- ① 上司にもあたる師の坊の命令に背くことはできないから
- ② いつまでもぐずぐずしていると、女性の両親に反対されるから
- ③ 女性の愛情が深く、それを裏切れることは心情的にできないから
- ④ お互い愛し合っており、何としても愛を貫きたいと考えたから
- ⑤ 修行僧が一般女性と恋愛するには、女性の両親の許可が不可欠だから

問三 傍線部2「都をばまだ夜とともに出でしかど」というのは、能因法師の「都をば **A**」に入るとともに「**A**」とともに「**A**」とともたし秋風ぞ吹く白河の関〔後拾遺集〕巻九を踏まえた表現であるが、空欄 **A** に入る一語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **20**。

- ① 霰あられ
- ② 夜
- ③ 涙
- ④ 春
- ⑤ 霞

問四 傍線部3「空、しののめに成りにけり」とあるが、「しののめ」の時間として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **21**。

- ① 真夜中
- ② 午前中
- ③ 昼下がり
- ④ 夜明け方
- ⑤ 黄昏どき

問五 傍線部4「旅程を雲に隔つとも、やがての内に立ち帰り、空行く月のめぐり逢ひなん」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **22**。

- ① 二人の距離は空の雲のように遠いが修行を成し遂げ、しばらくすれば戻ることが出来る。その時を待とう。
- ② 今の二人は雲に隠れた月のように気分が重い。だがそのうち雲が晴れる時もある。そうしたら再会しよう。
- ③ 道のりは遠くへだたつていてもすぐに戻り、空ゆく月がまたもとの所にめぐってくるように再びめぐり逢おう。
- ④ お互いの心は遠くへだたつていても、空ゆく月が時間がたてば再び元の場所に戻ってくるように再会を果たそう。
- ⑤ 絶対わたしのことを忘れないでいて下さい。必ず戻ってきますので、空行く月のように再びめぐり逢いましょう。

問六 傍線部5「是非を弁わきまへず」のここでの意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は23。

- ① 止むに止まれず
- ② 前後不覚となり
- ③ 損得勘定抜き
- ④ 是非連れて行けと
- ⑤ 分別もなく

問七 傍線部6「雪とあやしむ肌に氷の剣を押しあてて」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は24。

- ① 雪さえ落ちる寒さの中、白い肌に氷のように冷たい刃を押しあてて
- ② 雪のごとく冷たい肌に、氷のように鋭くとぎすました刃を押しあてて
- ③ 雪のように白い肌に、氷のごとく冷たくとぎすました刃を押しあてて
- ④ 雪のように神秘的な素肌に、氷のごとく光輝く鋭利な刃物を押しあてて
- ⑤ 雪の予感を覚えながら、女性の柔らかな肌に氷のごとき刃を押しあてて

問八 傍線部7「二所の寮をしめて居たり」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は25。

- ① 一つの部屋に住んでいた
- ② 部屋をしめ厳しい修行をしていた
- ③ 多くの寮で占められていた
- ④ 一室でなごやかに暮らしていた
- ⑤ 他の僧たちと同室で共同生活をしていた

問九 空欄 B に入る語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は26。

- ① 心
- ② 胸
- ③ 息
- ④ 肝
- ⑤ 眼

問十 傍線部8「うれ愁へる眼まなこ、涙に浮き腫はれたり」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄
番号は **27**。

- ① 悲しみに満ちた眼は、涙でむくんでいた
- ② 眼は涙であふれ、まがまがしさに満ちていた
- ③ 悲しみに満ちた眼は、見る人たちの涙を誘った
- ④ 涙に満ちた眼が、悲しみを浮き彫りにしていた
- ⑤ 愁いに満ちた眼を、あふれる涙が際立たせていた

問十一 傍線部9「あしたの雪の日にあへる如く」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番
号は **28**。

- ① 明日が雪であることを予告するように
- ② あたかも雪の日の再会を約束するように
- ③ 朝の雪が昼過ぎにはとけてしまうように
- ④ 明日の雪が二人の来世を祝福するように
- ⑤ さながら朝の雪が太陽の光でとけるように

問十二 傍線部10「おなじ時」とあるが、何と何が同じ時なのか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄
番号は **29**。

- ① 女の首を切った日と、若僧が病死した時
- ② 女の首が突き叫んだ時と、若僧が死んだ時
- ③ 寮を明け渡す日と、女の首が突き叫んだ時
- ④ 若僧が急死した時と、僧たちが女の首を吊った時
- ⑤ 京からの知らせが届いた時と、女の首が突き叫んだ時

問十三 空欄

C

に入る語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 30。

- ① 渦 ② くだ ③ 息 ④ 舌 ⑤ 煙

問十四 本文の内容と違っているものを次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 31。

- ① 若僧と女の首は飯沼の弘経寺で三年間仲むつまじく暮らした。
② 僧との別れを悲しんだ女は予め小脇差を準備し、自ら首を切った。
③ 事情は分からないながら、弘経寺の僧たちは女の首をていねいに弔った。
④ 大声で笑う女の声が聞こえたので隣室の僧がこっそりとのぞくが、若僧以外の人の姿はなかった。
⑤ 若僧が京で急病のために亡くなったので、それまで住んでいた部屋を明け渡すという連絡があった。

三 次の文章は、著者・塚原史が一九八八年に出版した『ブレイバック・ダダ』を、二〇〇三年に『ダダ・シュルレアリスムの時代』と改題して再版したときに書いた「文庫版への序文」のなかの一節である。読んで、後の問に答えよ。

当時、二〇世紀という百年期はまだいちばん新しい世紀であり、自動車や飛行機や映画のはじまりから革命や戦争や収容所の時代をへて消費社会や情報化社会の進展にいたるまで、二〇世紀的であることは、人間たちのあらゆる営みの最先端に位置しているかに思えた。それから先が見えてこないという意味で、この世紀は絶対的な現代性をコジ¹することができたのである。一九八〇年代の終わり頃から、「世紀末」という言葉が、あいまいで過剰な不安とともに世界中で迎えられるようになったのは、人びとがまだ、この種の絶対性をどこかで信じていたことのあらわれだったといえるだろう。また、それに先立つ「ポストモダン」の流行も、二〇世紀的なものとしての現代性(モダニテイ、モデルニテ)にとってかわる次元のアイディアの不在を暗示していたといつてよい。

二一世紀はじめの現時点からふりかえるなら、「世紀末」や「ポストモダン」という発想は、私たちの二〇世紀が一八、一九、二〇、……とつづく数列上の目立たない場所以上の、こういつてよければ、回帰不能点としての意味作用を意識的あるいは無意識的に維持していたことの裏返しだったという状況が実感される。そこから先には、いったい何が待ち受けているのか、人びとはおそらくかすかな期待と、より多くの不安を抱いて

A

のだった。

² そんな時期に、起源の光景を思い起こし、たとえばダダのような反言語・反芸術の運動体の、これまであまり知られることのないなかつた場面への接近をつうじて、³ 先の百年期の最初の知的冒険者たちの興奮を再生して、その後の精神文化のさまざまな展開に目をやるとき、私たちは、起源の驚きがしだいに回収され、未知のものが見慣れたものになっていく過程に気づかないわけにはいかない。科学やテクノロジーの分野では、新しい理論や技術は古いものよりほとんどつねに優位に立っていると、芸術や思想の場合には必ずしもそうではなく、最初の衝撃の記憶にたちもどることが、「世紀末」と「ポストモダン」を超えて新たな出発をとげるきっかけになるかもしれないことを、私は「ブレイバック・ダダ」というささやかな作業をつうじて、あえて示唆し

ようと考えてみたのである。

ここで、「新たな出発」を、新しい現代性の可能性と言い換えることもできるだろう。本書初版刊行から現在までの十数年間は、二度目の世界戦争以後数十年間の時代の流れとはきわだつて異質な出来事が集中して起こつた時期だつた。世界史的には、ベルリンの壁崩壊と東欧社会主義の消滅や湾岸戦争から、チエルノブイリ原発事故やスペースシャトルの墜落、あるいは9・11や最近のイラク戦争へといたる出来事があり、文化的、社会的には、情報科学技術のハイスピードの発達にともなつて、ヴァーチャル・リアリティやクローン、インターネットやコンピュータ・グラフィックといった、技術と人間の関係を一変させるまつたく新しい現実が、私たちの日常生活に入りこんでくるようになった。

こうした一連の出来事があらわにしたのは、主体と客体、現実と幻想、オリジナルとコピー、文明と未開などの二項対立とその止揚という、ヨーロッパ近代型の思考形態が **B** する時代のおとずれだつたといつてよい。その結果、人間対自然、権力者対大衆、男性対女性、超大国対弱小国等々の対抗的關係のなかで、前者の系列による支配と管理が、後者の側の異議申し立てを回収しながら貫徹されるという、ある意味で予定されたとおりの世界の構造が劇的に揺らぎはじめた事態が出現して、確実性から不確実性へ、 **C** と、人びとの思考や感性の方向は大きく変わつていったのではないだろうか。

この変化は、当然、あの回帰不能点の意識の変容に結びついている。図式的でないかたになるが、二〇世紀が、一九世紀の西欧近代が提案したさまざまな価値観、とりわけ知性の進歩が必然的に人類を繁栄へとみちびくという歴史観への反抗者としての自己規定を引き受けることになつたとしても、植民地解放闘争やフェミニズム運動から学生たちの反乱まで、こうした反抗は、理性の主体としての「人間」という近代社会の原点からの批判的距離によつて、その強度と効果を測定するほかはなかつたかのようだ。この意味では、二〇世紀的な現代性は、結局、地球上を発明と発見で覆いつくした近代合理主義という、魔法使いに対する魔法使いの弟子の反抗として、回帰不能点の手前にとどまっていたことになる。 **D** 過去十数年ほどのあいだに起

こつた異質な出来事は、この種の準拠枠をあつさり置き去りにしてしまつた。文明が、そこに内在する矛盾や困難を理性的に克服することで、必然的かつ確実に、そして無限に発展することができるといふ思いこみはいつの間にか影をひそめ、最先端の

技術やアイデアが、文明を破壊するレヴェルのカタストロフィーを、いつ、どこでも、引き起こしかねないという、不確実で偶然的な状況が実感されるようになったのである。

注

*ポストモダン——超近代。思想・文学・建築等の領域で、近代主義を越えようとする思潮をいう。

*ダダ——ダダイズム。第一次大戦中から戦後にかけて、ヨーロッパに広がった芸術運動。既成の秩序や常識を徹底的に否定し、自発性・偶然性を尊重した。

問一 傍線部「人間たちのあらゆる営みの最先端に位置しているかに思えた」のはなぜか。その説明として最適なものを、次の

①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 32。

① この新しい世紀の社会の進展のなかにも多くの矛盾や不合理が内在している事実直面させられながら、多くの人々はそれにはあえて目をつぶっていたから。

② これまでには想像もできなかった高度な情報技術が進展したことによって、人々に今新しい世紀を生きている恩恵を存分に与えたから。

③ 革命や戦争や収容所の苦難をくりぬけた体験があればこそ、今までの時代には実現不可能だった社会の進展に立ち会うことができたのだと、多くの人がはつきりと認識していたから。

④ 社会の進展がすべてにわたって前世紀までとかけ離れてすばらしく、その後の進展が想像できないほど、人々に今新しい時代を迎えているのだということを強く実感させたから。

⑤ 科学やテクノロジーの分野ではたえず新しい理論や技術が開発されていくという科学の常識を、新しい時代が到来したときに一部の専門家を除き、多くの人が持っていなかったから。

問二 二重傍線部「コジ」を漢字に直す場合、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 33。

- ① 誇 持 ② 固 持 ③ 孤 示 ④ 固 辞 ⑤ 誇 示

問三 空欄 A に入れるのに最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 34。

- ① もと来た道を振りかえろうとしていた
② 足踏みしていた
③ 橋を渡ろうとしていた
④ 崖つぶちに立たされていた
⑤ 大海原に乗り出そうとしていた

問四 傍線部「そんな時期に、起源の光景を想い起こし」とあるが、

(i)「そんな時期」とは、いつを指すか。また、(ii)「起源の光景」とは、いつの光景か。

それぞれ、次の①～⑤から最適なものを選び、記号をマークせよ。(i)は解答欄番号は 35、(ii)は解答欄番号は 36。

- ① 一九世紀の世紀末
② 二〇世紀のはじめころ
③ 二〇世紀の半ば(第二次大戦前後)
④ 二〇世紀の終わり近く
⑤ 二一世紀を迎えた今

問五 傍線部3「先の百年期の最初の知的冒険者たち」とは、何を指しているか。次の①～⑤から最適なものを選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **37**。

- ① 西欧の近代合理主義を徹底し、新たな冒険に乗り出していった人たち
- ② 新しい科学やテクノロジーの貢献に尽くした人たち
- ③ 「世紀末」や「ポストモダン」を唱えはじめた人たち

④ 消費社会や情報化社会の進展を見事に実現させた人たち

⑤ ダダのような運動体に代表される精神文化を担った人たち

問六 空欄 **B**

に入れるのに最適な熟語を、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **38**。

- ① 失策
- ② 失効
- ③ 失墜
- ④ 失望
- ⑤ 失当

問七 空欄 **C**

に入れるのに最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **39**。

- ① 人間から自然へ
- ② 支配から回収へ
- ③ 絶対から相對へ
- ④ 必然から偶然へ
- ⑤ 対立から調和へ

問八 空欄 **D**

に入れるのに最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **40**。

- ① 同時に
- ② もしくは
- ③ はたして
- ④ 換言すれば
- ⑤ ところが

問九 本文で述べられた内容と合致するものを、次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 41。

- ① 二〇世紀末から今世紀はじめにかけて、これまでとは違った異質な出来事が集中して起こったのも、社会の進展にもかかわらず、未知なるものも次第に見慣れたものになって行かざるを得ないという過程に、人々が鈍感だったためである。
- ② 現在のように文明を破壊するレヴェルのカタストロフィーが日常生活に入り込んでいく事態は、文化的社会的に情報科学技術のハイスピードの発展を両手を挙げて称賛してばかりいた二〇世紀の営みに主たる原因がある。
- ③ 二〇世紀の現代性は前代からの近代合理主義の価値観への反抗者でありながら、どこまでも理性こそが主体としての人間のよりどころであるという認識を持っていて、そのため非人間的な感性に直面することなくすまうことができた。
- ④ 世界に内在する矛盾と困難を克服していくことに、最先端のアイデアは力を発揮しなければならないはずであったのに、二〇世紀末から今世紀はじめにかけて、その科学技術と情報化が必ずしもうまく機能していかなかった。
- ⑤ 二〇世紀にあつては絶対的な現代性なるものに徹底してとどまりつづけたために、その絶対性を根底から疑う精神の深化が見られなかったし、そして世紀を越える今もなおそれは続いている。



